

あけぼの山周辺地域懇談会 第3回資料

あけぼの山公園 及び 柏市あけぼの山農業公園



本日の内容

1. ビジョンの振り返り
2. アクションの振り返り
3. あけぼの山周辺地域将来構想（案）
4. 次年度の流れ
5. 意見交換

1. ビジョンの振り返り



1 公園デザイン

1. 公園の強み
2. 魅力の強化
3. 名称とデザイン

2 公園サービス

1. ソフト事業の展開
2. 魅力ある施設配置
3. 公園と農業の連携

3 公園マネジメント

1. 公園区域の明確化と都市公園指定
2. 官民連携と持続可能な公園運営
3. 道路・駐車場整備などアクセス強化

1-1 公園の強み

第1回懇談会のまとめ

1. 公園の強み

委員意見

観光資源の活用

多くの人を魅了する花や自然の良好な景観を、
観光資源として活かしていくべき。

プロモーションの強化

ロケなども活用しながら、多くの人が公園や景観
を認知する機会を増やすべき。

目指す姿

『豊かな自然や美しい
花畑の景観』が、
多くの人を魅了し、
柏市が誇る
観光地となっている。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- ビジョンの中に、弁天様や八朔相撲といった地域の歴史資源に関する内容をもう少し強調すべきだと思う。その中で、SNSを活用した情報発信は重要なカギになるのではないか。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

1. 公園の強み

委員意見

観光資源の活用

多くの人を魅了する花や自然の良好な景観や**地域の歴史資源**を観光資源として活かしていくべき。

プロモーションの強化

ロケや**SNS**なども活用しながら、多くの人が公
園や景観を認知する機会を増やすべき。

目指す姿

『豊かな自然や美しい花畑
、**歴史資源**の景観』が、
多くの人を魅了し、
柏市が誇る
観光地となっている。

1-2 魅力の強化

第1回懇談会のまとめ

2. 魅力の強化

委員意見

目指す姿

新たな見所

1年で様々な見所がある、滞在時間が延びるような見所がある公園にすべき。

多世代に愛される公園

子どもから大人まで多世代が魅力に感じる場所を創出するべき。

子どもから大人まで
多世代が訪れ、
年間を通じて、
一日楽しむことができる
公園になっている。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- イベントだけでなく、通年して多くの人が訪れる公園であるべきであり、ヘッドガーデナーを中心に季節ごとの花や植物の魅力を充実させるよう、公園づくりを進めるべきである。
- 遊び、植物、農業を通じて、この公園が子供の心を育んだ大切な思い出の場所となり、大人になっても自分の子供と来園するような世代を超えて愛される公園になることが大切である。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

2. 魅力の強化

委員意見

目指す姿

1年を通した見所

花や植物などの見所の充実により、通年を通して来園がある、滞在時間が延びる公園にすべき。

世代を超えて
愛される公園

子供時代の思い出の地であり、大人になっても子供と来園するような公園となるべき。

世代を超えて、子や孫にも
愛される場所となり、
花や植物など一年を通して、
一日楽しむことができる
公園になっている。

1-3 名称とデザイン

第1回懇談会のまとめ

3. 名称とデザイン

委員意見

目指す姿

公園名称の統一

認知度を高める観点からも、名称を統一(例えば「フラワーパーク」)すべき。

全体デザインの再構築

公園や地域全体を俯瞰して、将来像とデザインを再構築すべき。

新たな将来像、
ネーミングのもと、
風景と調和したデザインが
記憶に残る魅力的な
公園となっている。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- 「あけぼの山フラワーパーク」や「あけぼのの杜公園」など名称はコンセプトと繋がるため、とても重要である。コンセプトを示した上で、市民に公募する方法も有効である。
- 公園全体や地域資源を周遊できるように、入口出口を一本のルートとするなど、来園者の動線計画に基づき、園路を整備すべきである。また園路は、車いすやベビーカーにも対応した園路であるべきである。
- 災害時の避難所としての役割も果たすべく、仮設トイレやマンホールなどインフラ整備が必要ではないか。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

3. 名称とデザイン

委員意見

目指す姿

公園名称の統一

認知度を高める観点からも、名称を統一(例えば「フラワーパーク」)すべき。

全体デザインの再構築

公園や地域全体を俯瞰して、将来像とデザイン、
動線計画や災害視点にも考慮してを再構築すべき。

新たな将来像と**名称のもと**、
地域全体を周遊でき、**景観が**
記憶に残る魅力的な公園と
なっている。

2-1 ソフト事業の展開

第1回懇談会のまとめ

1. ソフト事業の展開

委員意見

目指す姿

魅力あるイベント実施

施設も活用しながら、魅力的なイベントを提供して、集客を高めていくべき。

地域との連携強化

地域と連携した活動を強化し、公園の利用促進と地域活性化を図るべき。

施設の活用、地域連携、
新たなチャレンジにより、
魅力的な事業が展開され
公園が変化し続けている。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- 集客においては、イベントも大切であるため、継続的なイベントの実施、若者向け・児童向けイベント開催、トライアル的に新たな取り組みを事業者へ募集するなどを検討すべきである。
- 八朔相撲や陶芸体験など、地域のイメージや特色を取組みに反映することが公園の独自の魅力につながる。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

1. ソフト事業の展開

委員意見

目指す姿

魅力あるイベント実施

施設も活用し、魅力的なイベントを提供して、集客を高めていくべき。

地域との連携強化

八朔相撲や陶芸体験など、公園独自の魅力を強化し、公園の利用促進と地域活性化を図るべき。

施設の活用、地域連携、
新たなチャレンジにより、
魅力的な事業が展開され
公園が変化し続けている。

2-2 魅力ある施設配置

第1回懇談会のまとめ

2. 魅力ある施設配置

委員意見

目指す姿

施設更新と統廃合

施設更新や統廃合を進め、利用しやすい、活用しやすい公園にすべき。

観光拠点機能の強化

アクセスと連動した物販・飲食・情報提供等が提供される建物を整備すべき。

施設と機能が再編され、
多くの人の来園動機となる
魅力的な施設が公園の顔と
して機能している。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- 直売所などの日常的な施設は集客が期待できる、使い勝手がよい立地にあり、楽しいことが重要である。一方、出荷ニーズはあるものの、高齢化が進み出荷者がいなくなる恐れもあり、早急な対応が必要である。
- 天候に左右されず、評価の高い飲食店、無料休憩所、清潔で使いやすいトイレ、誰もが周遊しやすい園路、情報案内が必要である。一方、社会実験等を通じて、民間ニーズや収益性も踏まえた検討も必要である。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

2. 魅力ある施設

委員意見

目指す姿

施設更新と統廃合

民間ニーズも踏まえ、施設更新や統廃合を進め、利用・活用しやすい公園にすべき。

観光拠点機能の強化

アクセスと連動し、天候に左右されない物販・飲食・情報・休憩所等が提供される建物を整備すべき。

施設と機能が再編され、
魅力的なサービスが提供さ
れる新たな施設が公園の顔
として機能している。

2-3 公園と農業の連携

第1回懇談会のまとめ

3. 公園と農業の連携

委員意見

目指す姿

体験型観光農業

体験型の観光農業など、公園と農業が連携した魅力向上を図るべき。

持続可能な農業

若者を巻き込み、農業の持続可能性を高めるべき。

公園に来園した若者やファミリー層が、公園外の持続可能な農業の実現と地域経済の活性化に寄与している。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- 地産地消の取組みなど農業の連携は重要であり進めるべきである。一方で、農業における新規就農や後継者不足などの課題や収穫体験などによる魅力化には、市による支援や民間企業の参入が必要である。
- 新規就農のニーズはあることから、地域全体で受け入れ態勢を整えるべきである。この地域でトライアル的に取組みを進め、花の一大生産拠点として後継者を育てる可能性もあるのではないかな。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

3. 公園と農業の連携

委員意見

目指す姿

体験型観光農業

体験型の観光農業や地産地消の取組みなど、公園と農業が連携した魅力向上を図るべき。

持続可能な農業

市の支援も受け、新規就農者や企業を受入れ、花の生産拠点などトライアル的な取組みも必要でないかな。

公園の取組みと連携して、公園外の農地でも様々な取組みや挑戦があり、農業の持続性と地域経済の活性化が高まっている。

3-1 公園区域の明確化と都市公園指定

第1回懇談会のまとめ

1. 公園区域の明確化と都市公園指定

委員意見

目指す姿

公園区域の明確化

どこまでを公園として面的に整備・管理するのか、公園区域の外縁を明らかにすべき。

都市公園の指定

農業振興地域の除外も視野に、当該区域を都市公園として都市計画決定を検討すべき。

公園区域が整理され、課題の解決が進み、

公園運営と営農活動が、あけぼの山エリア全体の価値向上に繋がっている。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- 公園全体の区域は、農用地も含めて、フラワーパークのようなコンセプトでまとめたエリアをゆるやかに設定する方法が現実的ではないか。
- 土地の整理が一番重要であり、主要なエリアは営農組合の協力も得ながら公園に転換を図り、観光資源として魅力を高めるべきである。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

1. 公園区域の明確化と都市公園指定

委員意見

目指す姿

公園区域の明確化

どこまでを公園として面的に整備・管理するのか、公園区域の外縁を明らかにすべき。

都市公園の指定

農業振興地域の除外も視野に、当該区域を公園に転換を図り、観光資源の魅力を高めるべき。

公園区域が整理され、課題の解決が進み、

多くの人を魅了する観光地となっている。

3-2 官民連携と持続可能な公園運営

第1回懇談会のまとめ

2. 官民連携と持続可能な公園運営

委員意見

目指す姿

公園経営の改善

公園管理の効率化を進めつつ、財政的にも持続可能な公園運営を行うべき。

公民による公園運営

民間活力も活かしながら、持続可能な運営体制を築くべき。

都市公園の指定、公園経営の改善と効率化、公民連携などにより、

持続的な公園運営が可能となっている。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- 来園者が満足するクオリティをつくる上でも、質の高い維持管理を行えるよう、市、業者、組合それぞれが役割を果たす必要がある。また、お金をかけず、工夫できることもあるはず。
- 持続可能な公園運営には、市役所や地域関係者、指定管理者など様々な人が議論する、公園協議会のような場が必要である。また「公民連携」の視点においては、市民も含まれるべきである。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

2. 持続可能な公園

委員意見

目指す姿

公園**運営**と経営の改善

公園管理の**質**と効率化を**確保**しつつ、財政的にも持続可能な公園運営を行うべき。

公民による公園運営

民間や市民の力も活かし公園運営を行うべき、また様々な立場の人が議論する場が必要である。

公園**運営**と経営の改善、**多様な人が関わる**公民連携などにより、

持続的な公園運営が可能となっている。

3-3 道路・駐車場整備などアクセス強化

第1回懇談会のまとめ

3. 道路駐車場整備などアクセス強化

委員意見

目指す姿

アクセスの改善

生活に影響を及ぼしている道路混雑を緩和するため、新たな道路を整備すべき。

駐車場の改善

多くの来園者やバスの受け入れが可能な駐車場を整備すべき。

交通や駐車場の
インフラが整備され、
誰もが行きやすく、利用しやすい公園となっている。

第2回懇談会における委員発言の一覧

- 県道から公園までバスが通行できるような新しいアクセス道路の実現は、時間もかかると思うが、現実味を帯びてきているので進展に期待している。
- エリア改善に合わせて、道路や駐車場等の整備を是非実現していただきたい。

第2回懇談会を受けてまとめの修正(案)

3. 道路駐車場整備などアクセス強化

委員意見

目指す姿

アクセスの改善

生活に影響を及ぼしている道路混雑を緩和するため、新たな道路を整備すべき。

駐車場の改善

多くの来園者やバスの受け入れが可能な駐車場を整備すべき。

交通や駐車場の
インフラが整備され、
誰もが行きやすく、利用しやすい公園となっている。

ビジョンのまとめ

市民の豊かな生活の実現

この公園が、市民（来園者）にとって、大切なひとときを過ごす場所であり、幸せを感じ（安らぎやワクワク感）、日々の活力を得ることができる場所になる

ビジョン1

『またここで過ごしたい
いつか訪れてみたい』
と思えるような

人を惹きつける景観、
居心地のよい場所がある公園

ビジョン2

『毎年、季節ごとに
新しい変化・発見がある』

それを目的に広域から
人が集まり、賑わっている公園

ビジョン3

公園区域、交通、公園運営
などが整理・改善され

『持続的なまちづくり』
を推進している公園

ビジョン1-1 『豊かな自然や美しい花畑、歴史資源の景観』が、多くの人を魅了し、柏市が誇る観光地となっている。

ビジョン1-2 世代を超えて、子や孫にも愛される場所となり、花や植物など一年を通して、一日楽しむことができる公園になっている。

ビジョン1-3 新たな将来像と名称のもと、地域全体を周遊でき、景観が記憶に残る魅力的な公園となっている。

ビジョン2-1 施設の活用、地域連携、新たなチャレンジにより、魅力的な事業が展開され、公園が変化し続けている。

ビジョン2-2 施設と機能が再編され、魅力的なサービスが提供される新たな施設が公園の顔として機能している。

ビジョン2-3 公園の取組みと連携して、公園外の農地でも様々な取組みや挑戦があり、農業の持続性と地域経済の活性化が高まっている。

ビジョン3-1 公園区域が整理され、課題の解決が進み、多くの人を魅了する観光地となっている。

ビジョン3-2 公園運営と経営の改善、多様な人が関わる公民連携などにより、持続的な公園運営が可能となっている。

ビジョン3-3 交通や駐車場のインフラが整備され、誰もが行きやすく、利用しやすい公園となっている。

2. アクションの振り返り (追加意見含む)



1 公園デザイン

ビジョン1-1

『豊かな自然や美しい花畑、歴史資源の景観』が、多くの人を魅了し、柏市が誇る観光地となっている。

キーワード 観光資源の活用、プロモーションの強化

委員意見 ロケの積極的な誘致やSNSを活用した情報発信などによるプロモーションの強化

ビジョン1-2

世代を超えて、子や孫にも愛される場所となり、花や植物など一年を通して、一日楽しむことができる公園になっている。

キーワード 世代を超えて愛される場所、一年一日楽しめる

委員意見 季節毎の花が楽しめるように、花畑だけでなく、公園区域全体の年間を通じた植栽計画を策定

- ・ 専門家による植栽計画の策定と実施

例えば、

品 種：アジサイ、アガパンサス、バラ、モミジ、しょうぶ、果樹、宿根草、灌木類など、他にない品種、開花が話題になる品種、北総台地に自生していた山野草

デザイン：植え込みの中を散歩できるような植栽

取り組み：ヘッドガーデナーを中心に実施、地域の小学校など教育機関と連携して実施

ニーズを踏まえた子供達が遊び過ごす場所の整備

- ・ 例えば、フィールドアスレチック

1 公園デザイン

ビジョン1-3

新たな将来像と名称のもと、地域全体を周遊でき、景観が記憶に残る魅力的な公園となっている。

キーワード 公園名称の統一、全体デザインの再構築

委員意見 コンセプトと名称の設定

- ・ 公園区域全体のコンセプトの設定
- ・ コンセプトに基づくネーミングの設定

公園区域全体の景観計画(ランドスケープ計画)の策定

- ・ 景観保全
花畑を含む農業景観を維持する、景観を阻害しない工夫する
- ・ オープンスペース
子供が寝転んで遊べるような綺麗な芝生である、球技ができるようなスペースを確保する
- ・ その他の配慮すべき視点
観光資源、ペット

周遊ルートを設定

- ・ 選定方法 : 公園協議会といった場での検討
- ・ 周遊経路 : 駐車場などを起点とし、花・植物や歴史資産をめぐるルート
- ・ 整備内容 : 路面ペインティングなど園路デザインの工夫、車椅子やベビーカーなど、誰もが周遊しやすい園路の整備
- ・ 周知方法 : パンフレットやHPに、歴史散歩コース、健康づくり推奨コースを記載

2 公園サービス

ビジョン2-1

施設の活用、地域連携、新たなチャレンジにより、魅力的な事業が展開され 公園が変化し続けている。

キーワード 魅力あるイベント実施、地域との連携強化

委員意見 イベント内容の充実

- ・ 星空観察などの夜のイベント
- ・ 野菜や花きの即売会のようなマルシェイベント
- ・ ランタン、ドローンショー、イルミネーションなど特徴ある演出をしたイベント
- ・ 陶芸(布施焼)や八朔相撲など、地域と連携した特色あるイベント

イベントの仕掛け方に関する工夫

- ・ 今後の民間事業者の参入を念頭に、コーヒーショップの期間限定出店など、社会実験として民間事業者を公募
- ・ チューリップの摘み取りなど、公園収入の獲得を念頭としたイベントと寄付の組み合わせコンテンツの提供
- ・ 継続して、定期的なイベントを開催

体験コンテンツの充実

- ・ 土に触れる、花を育てる、参加者の交流といった、誰でも参加できる楽しい「たね団子」事業
- ・ チューリップの球根植えなど子供達が参加するコンテンツ
- ・ 乗馬クラブを誘致して、千本松牧場のように乗馬体験や動物と触れ合う場
- ・ バーベキューやキャンプなどアウトドアコンテンツ

先進技術を取り入れた面白いサービス

- ・ 園内でのドローン配達による飲食の提供

2 公園サービス

ビジョン2-2

施設と機能が再編され、魅力的な民間サービスが提供される新たな施設が公園の顔として機能している。

キーワード 施設更新と統廃合、観光拠点機能の強化

委員意見 施設や機能の統廃合、集約化

- ・ 休憩所、飲食物販、駐車場、インフォメーション、事務所など

(事例) ドイツ Emsflower

花き生産者が提供する子供の遊び場、植物、池、動物、飲食店が一体となった有料施設

日常的に利用でき、使い勝手がよく、楽しい施設(機能)

- ・ 物販：地場野菜を取り扱う直売所※1、パン・ピザ・スムージーなどの販売、TSUTAYAのような居場所をコンセプトとしたくつろぐことのできる園芸店※2
- ・ 飲食：口コミで広がるような評価の高い飲食店
- ・ 休憩：無料休憩所があり天候に関係なく過ごすことが出来る施設
- ・ ほか：周辺の自然に馴染む低層棟の宿泊施設、使いやすく、綺麗なトイレの提供

※1 (事例) 糸島市 伊都菜彩 (いとさいさい)

JA糸島が運営する農畜産物直売所、97%が糸島産の野菜や花きなども販売、価格と鮮度（品質）に魅力を感じて、30分かけても訪れたくなる店

※2 (事例) カルフォルニア Roger 's Gardens

カフェ、植物、家具があり、どれも商品であるが、そういった事を感じないづくりの店、園芸店に行くというよりはくつろぎに行くイメージで各々の時間を過ごせる店

魅力向上に繋がるためのインフラ整備

- ・ 災害時における避難者の受入可能なインフラ整備
- ・ 夜間イベントなどの、イベント時の開催に必要なインフラ整備

2 公園サービス

ビジョン2-3

公園の取組みと連携して、公園外の農地でも様々な取組みや挑戦があり、農業の持続性と地域経済の活性化が高まっている。

キーワード 体験型観光農業、持続可能な農業

委員意見

公園と農地の連携

- ・ 公園における地産地消の推進（飲食や販売など）
- ・ 農地を活用した収穫体験

農業としての新たな取組み

- ・ 新たな農業法人や新規就農者の受入れ
- ・ トライアル的に半農半Xや若い人に対する農業体験の機会の提供
- ・ 花の一大生産拠点への挑戦と後継者育成

市による農業振興策

- ・ 観光農園に対する補助金などの支援策
- ・ 新規就農者等への技術的な支援制度

3 公園マネジメント

ビジョン3-1

公園区域が整理され、課題の解決が進み、多くの人を魅了する観光地となっている。

キーワード 公園区域の設定、都市公園の指定

委員意見 公園区域の設定

- ・ ネーミングとともに、農用地なども含めた公園区域の設定
- ・ 都市計画公園、都市公園としての区域指定

都市公園の指定

- ・ 主要なエリアは市が保有し、農地を含めて、法に基づく公園として指定

3 公園マネジメント

ビジョン3-2

公園運営と経営の改善、多様な人が関わる公民連携などにより、持続的な公園運営が可能となっている。

キーワード 公園運営と経営の改善、公民による公園運営

委員意見 持続可能な公園運営につなげるための手段

- ・ 2つの公園全体のマネジメントプランの策定
- ・ ニーズの把握、コンセプトに沿った再整備
- ・ P-PFIなど公民連携事業の実施
- ・ 公園における収益の公園運営や管理への還元
- ・ カリキュラムの一環として、千葉大生の花や植物など植栽管理への参画
- ・ 市民と植物の関わりを深める観点から、市民による花壇を管理するボランティア組織を構築
- ・ 苗木による植樹など、お金をかけずに整備する工夫

維持管理の適性管理

- ・ 市の監督・検査体制の強化
- ・ 雑草管理の工夫

公園周辺区域も含めた公民連携の場を設置

- ・ 公園の持続的な運営を図ることを目的とした議論の場づくり
- ・ 都市公園法に基づく公園運営協議会として設置
- ・ メンバーは、柏市、営農組合、千葉大学、民間有識者、地域代表者、指定管理者などが参画

3 公園マネジメント

ビジョン3-3

交通や駐車場のインフラが整備され、誰もが行きやすく、利用しやすい公園となっている。

キーワード アクセスの改善、駐車場の改善

委員意見 アクセス道路や駐車場の整備

駐車場及びアクセス道路の整備方針を公表

3. 将来構想(案)



別添資料を参照

4. 次年度の流れ(案)



次年度(令和7年度)に想定している主な事業

- ・ 公園リニューアルに向けて、ランドスケープ計画の策定に向けた検討を進めます。
 - 専門的知識を有する者を選定し、エリアごとの具体的なデザインの検討
- ・ 現在の懇談会メンバーをベースに、プラットフォーム構築のための準備会を設置し、以下の議論を行います。
 - 今後のプラットフォームの役割や組織体制に関する議論
 - 周遊路やランドスケープデザインに関する意見交換
 - 指定管理者が進める事業等の報告や意見交換
 - 千葉大学や観光協会、花き事業者などとの連携に関する意見交換
- ・ 道路整備計画の検討を進めます。
検討の進捗によっては、ルートや整備時期の公表等も行います。

5. 意見交換



頂きたいご意見の視点

- ① ビジョン・アクションの振り返りについて、追加意見、補足等があればお願いします。
- ② 将来構想(案)及び次年度の流れについて、ご意見お願いします。
- ③ その他追加意見等ありましたら、ご意見お願いします。